平成30年度事務事業進行管理表(事務事業計画・予算管理)

1 事業概要

課等No.	42	事業No.	380		
事務事業名	地域周産期システム構築事業	会計	病院事業会計		
		事業区分	政策	実施区分	単年度
担当課等名	経営企画課	開始	H30	終了	H30

根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画	○	5	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
	分野別計画		飯田市立病院中期計画	
			飯田市立病院新改革プラン	
	法令・例規等			

事業目的		
	対象	飯田・下伊那（二次医療圏）の妊婦（里帰り出産含む）
	意図	地域内医療機関の高度な連携のもとで安全安心に出産することができる。

2 事業内容

事務事業を進める上での課題認識(前年度評価)	当医療圏では分娩と健診を地域内で役割分担して周産期医療体制を守ってきましたが、平成28年に市内産科クリニックが閉鎖して以来、飯田市立病院が唯一の分娩医療機関として年間約1,300件の分娩に対応している状況です。医療機関の情報共有には当地域独自の紙製の産科共通カルテを活用してきましたが、妊婦の状況が多様化していることや、分娩施設が一院のみで多忙を極めていることから、安全な分娩のためにカルテの電子化が必要となっています。

30年度取組	取組内容	経費の内容	事業費(千円)
	安全で安心な分娩体制を維持、促進するため、効率的で高機能な周産期医療連携体制の構築が必要です。 そこで、地域内の分娩施設と健診施設の妊婦情報を電子的に連携し、処方、検査、画像情報等を正確かつ連続的に蓄積、共有するシステムを構築します。	周産期電子カルテシステム整備	36,363
		周産期医療地域ICTネットワーク構築	13,337
		その他の経費	0

活動指標	指標名　(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度 計画	平成30年度 計画	平成31年度 計画	平成32年度 計画
	飯田市立病院の分娩中カルテ連携した割合	%		80		

30年度予算	財源の状況(千円)	当初予算額	特定財源内訳及び補足事項
	事業費　計	49,700	（県）地域医療介護総合確保基金事業補助金（１／３） （地）病院事業（充当率100%） （そ）病院事業会計一般財源
	国庫支出金	0	
	県支出金	16,567	
	地方債	33,100	
	その他	33	
	一般財源	0	

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大事業	中事業	当初予算額 / 現計予算額	中事業名(科目名称)
1	72	1	1	2	2	0	49,700 / 0	システム購入費
2								
3								
4								
5								
6								
7								